

令和8年

高齢者交通事故防止運動

実施要綱

実施期間

10月1日（木）～10月31日（土）



運動の目的

この運動は、高齢化社会の進展に伴い、高齢者が被害者となる交通事故が多発するとともに、高齢運転者による事故の割合が増加する傾向にあることから、これらの事故が多発するこの時期に、本運動を展開し、高齢者の交通事故防止を図ることを目的に実施します。

スローガン

『 ひろげよう 長寿社会へ 無事故の輪 』

運動の重点

- ① 高齢運転者の交通事故防止
- ② 道路横断時の安全確認と夜光反射材の積極的な活用
～渡るよサインの活用～
- ③ 早めのライト点灯とこまめな切替え

運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、運転者及び高齢者に対する交通事故防止のための広報・啓発活動及び街頭指導等を積極的に推進します。

安全運転支援システム搭載車(サポカー・サポカーS)での運転が、交通事故防止に有効です！

＜サポカー/サポカーSとは？＞

⇒サポカー（セーフティー・サポートカー）

衝突被害軽減ブレーキ等の先進技術を搭載した、全ての運転者に推奨する自動車

⇒サポカーS（セーフティー・サポートカーS）

衝突被害軽減ブレーキに加え、ペダル踏み間違い急発進抑制装置等を搭載した、特に高齢運転者に推奨する自動車



① 高齢運転者の交通事故防止

高齢運転者の皆さん

- ◎ 最近、運転中に「危なかった」と感じることや、家族から「危ないよ」「運転が荒くなった」等と言われたことはありませんか？

そうした小さな変化は、加齢に伴う身体の反応や判断力の変化によるもので、年齢とともに誰にでも少しずつ現れてきます。「まだ大丈夫」と思っている、自分では気づきにくい変化が思わぬ事故につながることもあるので、体調がすぐれない時や夜間の運転は、無理をせず控えましょう。

- ◎ 運転免許センターでは、「加齢に伴う身体機能」や、「認知機能の低下」などから運転に不安を感じている高齢運転者及びその家族などからの相談を受け付けています。

ぜひこちらも、お気軽にお電話ください。

安全運転相談ダイヤル シャープ ハレバレ # 8080 (平日 8:30~16:00)



② 道路横断時の安全確認と夜光反射材の積極的な活用

歩行者の皆さん

- ◎ 道路を渡るときは、近くの横断歩道を必ず利用しましょう。

特に信号機のない横断歩道を渡る時は「止まる・見る・待つ」を合言葉に、いったん立ち止まり、左右の安全と車の動きをしっかりと確認しましょう。歩行者優先でも、ドライバーがあなたに気づいていないことがあります。

- ◎ 高齢歩行者が事故に遭うときの主な例として、薄暗い時間帯や夜間があげられます。

できるだけ明るい時間帯に外出し、夕暮れ時や夜間に外に出なければならない時は、白色系の明るい服装で夜光反射材を身に付けましょう。

夜光反射材は、キーホルダーや靴用のシール等、種類は様々で、手軽に身に付けることができます。



③ 早めのライト点灯とこまめな切替え

運転者の皆さん

- ◎ 10月の新潟県は、午後5時頃には薄暗くなり始めます。

「まだ明るい」と感じている、周囲からあなたの車は見えにくくなっていることから、早めにライトを点灯し、自分の車の存在を周囲に知らせることがとても大切です。

また、早めのライト点灯に加え、状況に応じてハイビームとロービームをこまめに切り替えることで、歩行者や周囲の状況の早期発見にもつながります。

